■区民と議会をむすぶ情報紙

平成 30 年第 4 回定例会・新年合併号
（会期：11月26日～12月10日）

新宿区議会だより

No. 286
平成31年（2019年）1月1日発行

発行：新宿区議会　☎（3209）1111（代表）
〒160-8484　新宿区歌舞伎町一丁目４番1号
ホームページアドレス http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html

今号の主な内容

●各会派・新年のあいさつ … 2、3面
●第4回定例会
議案の概要と審議結果 …… 4面
●平成30年度上半期
政務活動費・議長交際費 … 4面
●区政のここを問う！
定例会での代表質問・一般質問
… 5～7面
●委員会の動き …… 8面

区立甘泉園公園

新年のごあいさつ

新宿区議会議長
佐原 たけし

あけましておめでとうございます。区民の皆様にはお健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私たちは日頃、大自然からの恵みを享受し、四季の移ろいに安らぎを感じています。しかし、昨年を振り返りますと、地震や台風など、自然の猛威を感ぜずにはいられません。また、昨夏の猛暑は「災害級の暑さ」と評されるほどでした。

世界に目を転じますと、朝鮮半島の南北首脳会談に続き、米朝首脳会談が行われました。人類共通の願いである世界平和の実現を心から希求いたします。

私たちが住む新宿区においては、昨年11月に区長選挙が行われ、吉住健一区長が再選を果たされました。今後の四年間、区政の課題に果敢に取り組まれる区長の舵取りに、大いに期待を申し上げます。

区議会といたしましても、二元代表制の一翼を担い、区長部局と連携して安全安心な住み続けたいまちづくりに努めてまいります。また、開催まで570日となるオリンピック・パラリンピックが記憶に残るものとなるよう議論を深めるとともに、引き続き区民の皆様の声に耳を傾け、開かれた議会運営に取り組んでまいります。

今年は平成最後の年。時代は平成から新たな元号に移ります。私ども区議会議員も、任期が残り僅かとなる中、職責をしっかりと果たしてまいる所存です。

年頭にあたり、新宿区の発展と区民の皆様のご多幸を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

トップニュース

第4回定例会で可決した主な議案

■■ 区長提出議案25件と議員提出議案1件の議案を可決

○中町学童クラブの移転に伴い名称を細工町学童クラブと改め、定員を拡大する。（施行日　平成３１年４月１日）
○附置義務駐輪場の設置基準を見直し、駐輪場の整備の促進を図る。（施行日　平成３１年１月１日）
○新宿区長の給料を平成３０年度分について特例措置として減額する。（施行日　平成３１年１月１日）
○平成３０年度一般会計補正予算（第６号）　２億４，９１１万３千円
・神宮球場前及び早大通りの自転車通行空間の整備工事　９，２８０万円
・歌舞伎町地区の道路整備工事　５，７５０万円
・風しん抗体検査及び予防接種の対象者の拡大　１，７１６万３千円　など

関連記事 ４面

新宿クリエイターズ・フェスタ 2018 で MOT8氏が描いた壁画「見えない挑戦」（第一大久保ガード下）

今定例会で議決した 意見書（要旨）

意見書の全文は、区議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局までご連絡ください。

無戸籍問題の解消を求める意見書

無戸籍問題とは、子の出生の届出をしなければならない者が、何らかの事情で出生届を出さないために、戸籍がない子どもや成人がいるという問題です。

無戸籍者は、同じ我が国の国民であるにもかかわらず、種々の生活上の不利益を被るだけでなく、自らが無戸籍であること自体で心の平穏を害されており、救済が必要です。

人権保護の観点からも、一刻も早い無戸籍問題の解消に努めるとともに、無戸籍者が生活上の不利益を被ることのないよう「強制認知調停の申立てを是正し、その申立書の書式の改定等を進めること」、「関係機関に対し無戸籍問題の理解を促し、適切な対応を周知徹底すること」、「新たな無戸籍者を生み出さないための民法改正を検討すること」を国及び政府に求めました。

本紙は、新聞折り込みでお届けしています。主な区立施設、区内の駅・スーパーなどにも置いています。新聞を購読していない方には配達します。

新年を迎えて

区民が誇れる新宿のまちづくりを！

自由民主党・無所属クラブ

あけましておめでとうございます。

景気は、雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復し、その後も続くものとみられています。このことが新宿の地域経済を活性化し、豊かさをもたらすことを期待します。

今、新宿区では、「緊急に取り組むべき身近な課題」として、切迫性の高まる首都直下地震等の緊急地震対策と、近年の夏の猛暑の熱中症対策としての区立小中学校体育館等への空調設備の整備を掲げ、施策を進めています。

私たち自由民主党・無所属クラブは、少子高齢化の中、喫緊の課題の高齢者対策や子育て支援・待機児童解消対策をはじめとする課題解決に取り組み、区民生活を支える持続可能な新宿のまちづくりに全力で取り組んでまいります。

おぐら　利彦　4期
〒160-0004
四谷1-3
(3353)9000

下村　治生　4期
〒160-0021
歌舞伎町2-42-3
(3200)7181

宮坂　俊文　6期
〒161-0031
西落合1-25-15-301
(3951)9848

副幹事長
桑原　羊平　2期
〒160-0023
西新宿8-1-8
(3366)0071

幹事長
池田だいすけ　2期
〒169-0074
北新宿4-23-2-302
(6279)1838

平間　しのぶ　3期
〒169-0073
百人町2-5-1-204
(3365)0103

渡辺　清人　1期
〒162-0067
富久町23-11
(5269)1515

吉住　はるお　3期
〒162-0838
細工町1-8
ヴィラK2　302
(3260)3104

ひやま　真一　3期
〒169-0075
高田馬場3-23-1
YSKビル601
(3366)3575

佐原　たけし　4期
〒169-0051
西早稲田1-18-15
ヴェラハイツ
早稲田404
(3207)5271

誰もが安心して生活できる新宿を目指し、生活者の視点で取り組みます

新宿区議会公明党

新年おめでとうございます。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を目前に控え、新宿区はスポーツの促進をはじめ、健康づくりや障害者理解、ユニバーサルデザインのまちづくりなど、多くの事業に取り組みます。

公明党は、スポーツ施策の推進と共に、高齢者や障がい者など、誰もが安心して生活、移動できるバリアフリー先進都市・新宿を目指します。また、将来の展望を踏まえて、高齢者の健康づくりやフレイル予防、子育て世帯への幼児教育無償化の推進、防災対策などに力を入れます。さらには、児童・生徒の安全な教育環境の実現や災害時の避難所としての機能向上のために、2020年度までに、区立小中学校全施設への学校体育館の空調整備に向けて取り組みます。

豊島　あつし　2期
〒162-0041
早稲田鶴巻町537
メゾン三晃302
080(9804)7328

幹事長
野もと あきとし　3期
〒169-0073
百人町3-22-12-102
(3368)5035

中村しんいち　3期
〒169-0072
大久保2-2-20-502
080(9804)7326

有馬としろう　4期
〒161-0032
中落合2-12-26
グランスイート
中落合101
(3952)8354

赤羽　つや子　5期
〒161-0032
中落合1-21-3
(3366)0164

木もと ひろゆき　1期
〒162-0813
東五軒町3-22
070(6474)7447

三沢　ひで子　1期
〒162-0067
富久町36-10
080(9804)9740

副幹事長
井下田　栄一　2期
〒160-0012
南元町4-17-512
080(9804)7330

副幹事長
北島としあき　2期
〒169-0074
北新宿1-13-3
(3361)5315

区の財政力は区民生活応援に活かす！区民の負担軽減、福祉の充実に全力

日本共産党新宿区議会議員団

新年おめでとうございます。

昨年は新宿区が強行した表現の自由を侵す「公園のデモ使用規制」や65歳以上の区民の個人情報を本人同意なしに警察署に提供するプライバシー侵害に、批判や不安の声が多数あがりました。

一方、区民のくらしは国保料・介護保険料の値上げ等で大変な状況になっています。私たち区議団は、区民の負担軽減と、保育園・学童クラブの増設、高齢者、障害者施設の増設・充実、スポーツ施設使用料引き下げなど、くらしの応援策をさらに提案・実現していきたいと思います。

新宿区の財政力を活かし、子どもからお年寄りまで、区民みんなが安心して暮らすことができる新宿区へ、日本共産党区議団は今年も全力で頑張ります。

副幹事長
あざみ　民栄　5期
〒162-0842
市谷砂土原町3-18
090(1802)4520

副団長
近藤　なつ子　6期
〒162-0052
戸山1-16-16-310
090(4849)3227

幹事長
川村のりあき　4期
〒161-0031
西落合1-32-18
070(6510)8893

団長
沢田　あゆみ　6期
〒169-0051
西早稲田2-19-1
共美ビル101
090(3088)9591

佐藤　佳一　2期
〒169-0074
北新宿1-6-16
朝日クレスパリオ
北新宿602
090(2641)8431

阿部　早苗　5期
〒160-0022
新宿7-16-13
090(4015)8151

田中のりひで　7期
〒161-0034
上落合1-1-15-302
080(5483)5516

雨宮　武彦　7期
〒160-0017
左門町13
仙丈ビル501
090(1544)5088

◆議　長　佐原　たけし

◆副議長　中村しんいち

各会派あいさつ

「区民の生命と財産を守る」ため 一丸となり、全力で活動を展開

立憲民主党・無所属クラブ

あけましておめでとうございます。

昨年は、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震の発生、台風21号による豪雨災害、35度を超える記録的な猛暑日が続くなど、まさに「災害大国日本」であることをまざまざと見せつけられた年でありました。

「災害は忘れぬうちに次々とやってくる」という、ここ数年の状況からして、私たちが日々生活する新宿でも他人事ではありません。明日にもわが事となって降りかかってきても全く不思議ではありません。

私どもは「区民の生命と財産を守る」という、区政における最大の役割をしっかりと果たすために、本年も会派所属議員一丸となり、全力で活動を展開してまいります。

幹事長
志田　雄一郎
5期
〒160-0007
荒木町8
カインドステージ
四谷三丁目401
(3355)0546

副幹事長
久保　広介
2期
〒162-0825
神楽坂6-16
(3260)0669

小野　裕次郎
1期
〒161-0033
下落合1-15-21-604
(6908)0440

三雲　崇正
1期
〒169-0075
高田馬場1-17-17
山口ビル301
(6380)3185

変化への順応性を高め、持続可能な 新宿区政の実現に取り組みます

新宿区民の会

新年おめでとうございます。昨年は区長選挙があり、2期目となった吉住区政がスタートいたしました。我々は施政方針で示された五つの基本政策の推進を支持致します。

国際化や情報化の進展により、世の中の変化の度合いが増しております。緊急に取り組むべき事、じっくり腰を据えて取り組む事を分別し、堅実さを大切に区政に邁進する事が求められます。

区政の課題は山積しております。今後とも区民の皆さまの生の声をお聞きしつつ、現場・現実を直視した議会活動を進めます。又、将来の事も視野に入れ、持続可能性も追求しながら新宿の発展に全力を尽くします。

幹事長
のづ　ケン
5期
〒161-0033
下落合3-16-15-701
(3954)3573

えのき　秀隆
6期
〒161-0032
中落合4-6-11
(5983)8811

副幹事長
ふじ川　たかし
1期
〒161-0031
西落合1-29-19
(6753)7998

いのちとくらしを守る区政実現のため 今年も全力でがんばります

社民党新宿区議会議員団

かわの　達男
7期
〒169-0075
高田馬場
1-20-10-303
(3208)8340

区議会議員の寄附行為は法律で禁止されています

1　公職選挙法により、区議会議員等の政治家（候補予定者含む）は、年賀状等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出すことを禁じられています。

2　選挙区内の新年会、祭り、学校行事等でお金や物を贈ることも一切禁止されています（開催通知に会費の金額が明記されている場合は除く）。また、有権者（実行委員会、各種団体等）が政治家に対して寄附を求めることも禁じられています。

区民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

区民の声をカタチに。 誰もが活躍できる新宿をめざします！

新宿の明るい未来を創る会

鈴木　ひろみ
2期
〒162-0041
早稲田鶴巻町556
山口ビル2階
(3209)1635

子どもからシニアまで夢を抱き 新たな挑戦があふれる新宿区の未来へ

スタートアップ新宿

伊藤　陽平
1期
〒161-0031
西落合1-21-7
レオドールミレア
新宿西落合105
(6667)4427

平成31年　第1回 定例会のお知らせ

★2月14日から3月15日までの予定です。主な日程は、次のとおりです。

本会議	2月14日・19日・20日 3月15日
予算特別委員会	2月21日～3月6日
常任委員会	3月8日・11日
特別委員会	3月12日・13日

★ぜひ傍聴にいらしてください。

★手話通訳者または要約筆記者の配置もできます。事前に議会事務局（TEL：5273-3534　FAX：3209-9995）までご連絡ください。

★本会議・予算特別委員会は、議会ホームページでインターネット中継（生中継・録画）を実施します。ぜひご利用ください。

凡例

会派役職
氏　名
当選期数
住　所
電話番号

●「新宿区議会ホームページ」のアドレスは、http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index08.html です。

議案の概要と審議結果（賛成…○、反対…×）

平成30年第4回定例会　（11月26日～12月10日）

会派略称　自無ク＝自由民主党・無所属クラブ　公　明＝新宿区議会公明党
共　産＝日本共産党新宿区議会議員団　民無ク＝立憲民主党・無所属クラブ
新宿会＝新宿区民の会　社　民＝社民党新宿区議会議員団
スタ新＝スタートアップ新宿　未来会＝新宿の明るい未来を創る会

		議案名	概要	自無ク	公明	共産	民無ク	新宿会	社民	スタ新	未来会	議決結果
区長提出議案（25件）	予算（2件）	平成30年度新宿区一般会計補正予算（第6号）	補正予算額：2億4,911万3千円、補正後予算額：1,499億9,260万7千円 補正の理由：神宮球場前及び早大通りの自転車通行空間の整備工事に要する経費、歌舞伎町地区の道路整備工事に要する経費、風しん抗体検査及び予防接種の対象者の拡大に要する経費　等を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成30年度新宿区介護保険特別会計補正予算（第3号）	補正予算額：1,305万6千円、補正後予算額：249億6,144万9千円 補正の理由：介護予防・日常生活支援総合事業の一部改正に伴うケアマネジメント支援システム改修に要する経費を計上	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条例の制定・改正（4件）	新宿区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	内閣府令の改正に伴い、施設等は支給認定保護者が支給認定証の交付を受けていない場合、代わりに交付される支給認定に係る通知により受給資格等を確認するものとする。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区学童クラブ条例の一部を改正する条例	中町学童クラブの移転に伴い、名称及び実施場所を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		新宿区自転車等の適正利用の推進及び自転車等駐輪場の整備に関する条例の一部を改正する条例	附置義務駐輪場の設置基準を変更し、自転車駐輪場の整備の促進を図る。	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
		新宿区長の給料の特例に関する条例	新宿区長の給料を平成30年度分について特例措置として減額する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	その他（19件）	公の施設の指定管理者の指定について	新宿ＮＰＯ協働推進センター（高田馬場4-36-12）…一般社団法人新宿ＮＰＯネットワーク協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			四谷区民ホール（内藤町87） 牛込箪笥区民ホール（箪笥町15） 角筈区民ホール（西新宿4-33-7）…株式会社共立	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			高田馬場創業支援センター、新宿消費生活センター分館（高田馬場1-32-10）…有限会社そーほっと	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			信濃町シニア活動館（信濃町20）…生活協同組合・東京高齢協	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			西早稲田地域交流館（西早稲田1-22-2）…特定非営利活動法人ワーカーズコープ	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			中落合地域交流館（中落合2-7-24）…生活協同組合・東京高齢協	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			北新宿第二地域交流館（北新宿3-20-2）…社会福祉法人奉優会	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			本塩町地域交流館、本塩町児童館（四谷本塩町4-9）…テンプスタッフ・ウィッシュ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			北山伏地域交流館、北山伏児童館（北山伏町2-17）…特定非営利活動法人ワーカーズコープ	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			西新宿児童館（西新宿4-35-28）…株式会社日本デイケアセンター	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			四谷図書館（内藤町87）…紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			鶴巻図書館（早稲田鶴巻町521）…ナカバヤシ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			西落合図書館（西落合4-13-17）…紀伊國屋書店・ヴィアックス・不二興産共同事業体	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			戸山図書館（戸山2-11-101）…株式会社図書館流通センター	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			北新宿図書館（北新宿3-20-2）…ナカバヤシ株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			中町図書館（中町25）…丸善雄松堂株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			角筈図書館（西新宿4-33-7）…株式会社図書館流通センター	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			大久保図書館（大久保2-12-7）…紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
			下落合図書館（下落合1-9-8）…株式会社図書館流通センター	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	意見書	無戸籍問題の解消を求める意見書	1面の「意見書（要旨）」をご覧ください。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

平成30年度上半期　政務活動費の各会派収支報告〔平成30年4月～9月分〕

（単位：円）

会派名・人数		収入	支出 調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料費	人件費	事務費	支出合計
自由民主党・無所属クラブ	10	9,000,000	671,921	11,000	3,378,875	218,560	0	0	453,605	2,010,000	1,381,661	8,125,622
新宿区議会公明党	9	8,100,000	2,256	58,016	2,852,538	5,377	0	4,795	691,773	0	1,205,240	4,819,995
日本共産党新宿区議会議員団	8	7,200,000	0	50,068	1,694,645	2,135,914	0	0	144,040	81,500	1,697,411	5,803,578
立憲民主党・無所属クラブ	4	3,600,000	298,429	60,000	1,480,051	12,759	4,780	4,600	7,128	818,000	120,459	2,806,206
新宿区民の会	3	2,700,000	58,812	855,900	1,090,181	0	0	0	2,710	0	18,752	2,026,355
社民党新宿区議会議員団	1	900,000	30,000	64,620	233,796	60,000	0	0	24,000	0	340,192	752,608
スタートアップ新宿	1	900,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新宿の明るい未来を創る会	1	900,000	0	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000	600,000
合計		33,300,000	1,061,418	1,099,604	10,730,086	2,432,610	4,780	9,395	1,323,256	3,209,500	5,063,715	24,934,364

○収入・・・区が会派に対して交付した金額。月額15万円に会派の人数を乗じた金額です。
○年度末に生じた残額（収入－支出合計）は、区へ返還されます。
●政務活動費…地方自治法に基づき「新宿区政務活動費の交付に関する条例」を制定し、議員（会派）の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、区が会派に交付しています。
●政務活動費は、次の使途に用いることはできません。　①政党活動、後援会活動、選挙運動、あるいは個人への利益のために要する経費としての支出　②日当（1日あたりの決まった手当て）としての支出　③寄付金、賛助会費等、公職選挙法に抵触するものへの支出　④交際費に要する経費への支出（結婚式の祝い金、香料、見舞金等）
※上記は平成30年10月末時点での報告額です。年度末に平成30年度支出額が確定します。

平成30年度上半期　議長交際費支出状況〔平成30年4月～9月分〕

（単位：円）

支出項目／支出先	会費 件数	会費 金額	見舞い 件数	見舞い 金額	弔慰 件数	弔慰 金額	接遇 件数	接遇 金額	合計 件数	合計 金額
町会	0	0	0	0	1	5,000	0	0	1	5,000
地域団体	2	11,000	0	0	0	0	0	0	2	11,000
商店会	1	10,000	0	0	0	0	0	0	1	10,000
各種関係団体	18	163,000	0	0	0	0	0	0	18	163,000
その他	0	0	0	0	2	20,000	0	0	2	20,000
合計	21	184,000	0	0	3	25,000	0	0	24	209,000

○議長交際費とは…円滑な議会運営を図るため、議長が議会を代表して各種行事や接遇・儀礼など対外的な活動をするために支出する経費です。
○毎月の執行額について…月ごとの集計額を翌月に区議会ホームページで公表しています。平成２６年４月分以降をご覧いただけます。

他都市からの視察〔平成30年7月～12月〕

新宿区には、全国の議会（委員会・会派・議員）が施策調査のため視察に訪れています。

視察日	議会名	調査内容
7月4日	広島県廿日市市議会	赤ちゃん木育広場の運営
8月1日	東京都江戸川区議会	タブレット端末を利用したテレビ通話システム
8月2日	東京都立川市議会	客引き防止条例の区と警察の連携
8月3日	静岡県浜松市議会	無接道敷地の建替えの新たな許可基準
10月18日	福岡県大川市議会	西新宿こども園
10月19日	愛知県名古屋市会	避難所開設キット
10月30日	東京都文京区議会	漱石山房記念館
11月1日	愛知県半田市議会	区民討議会
11月7日	宮城県議会	高齢者見守りキーホルダーの配布
12月12日	東京都大田区議会	特殊詐欺対策、犯罪被害者支援

区政のここを問う

災害発生時の情報収集・発信

新宿区民の会 代表質問

えのき 秀隆

質問 区民の生命と財産を守るため、刻々と変化する被害状況を掌握し、迅速に対策を講じつつ、区民や来街者に必要な情報伝達が重要となる。区は防災行政無線やドローンなどの活用を研究しているが、SNS等から集めた情報の分析処理・発信の研究を。

答弁 国のSNS情報分析システムの研究開発を注視していく。

業務の効率化

質問 AIを活用した自治体運営に向け※1RPAに対する取り組みについて区はどう捉えているのか。

答弁 業務手順に有効と判断するものは、積極的に取り入れる。

災害時の迅速な情報の収集と発信を

所信表明と今後の区政運営

自由民主党・無所属クラブ 代表質問

桑原 羊平

質問 2期目の区長に対する区民の期待は、これまで以上に大きなものがある。区長は所信表明の中で「改めて、区政に対する期待の大きさを強く感じました」と述べているが、①このような期待をどのように受け止め、実現するのか。②1期目の公約で実現できた部分や、十分でない部分はどのようなものか。

答弁 ①今回の選挙を通じて区政に対する責任の重さを再認識した。引き続き区政に対する2つの基本姿勢である「現場・現実を重視した柔軟かつ総合性の高い区政」と「将来を見据えた政策の優先順位を明確にした区政」のもと、区民の皆様の期待や要望に応えていく。②1期目は「5つの基本政策」を掲げ、その中で健康づくりや生活習慣病予防の拡充、繁華街の客引き行為等の防止対策、漱石山房記念館の整備等様々な施策を推進した。一方、継続した課題として保育待機児童の解消があり、引き続き解消に向け取り組む。

いきいきと暮らし続けられる環境の整備

質問 ①日本人の平均寿命が延びる中、平均寿命と※2健康寿命の差（不健康な期間）が広がっており、生活の質の低下を招くとともに社会保障費の増大にもつながる。健康寿命延伸のため給付的サービスから予防支援へ施策の軸足を移す必要がある。区が開始した歩くことでポイントを付与する「健康ポイント事業」はまさに予防支援であるが、この事業の実績や区民の反応、今後の展開は。②新宿生活実習所や弁天町保育園等が入る牛込保健センター等複合施設について、外苑東通り拡幅のための北側区道工事による影響が最小限になるよう会派より要望した。併せて、「新宿生活実習所の機能の拡充と定員の拡大」、「一時保育等の充実など、多様な保育環境の整備」も要望したところだが、区の対応は。

答弁 ①20歳代から90歳代まで幅広い世代から486名の方が事業に参加している。来年度以降、定員を増やすとともに、ポイント付与対象事業を庁内他事業や地域の健康関連イベント等に拡大する。さらに、区内駐輪場等での周知等により、自転車対策と連携して自転車利用者のウォーキングへの関心を高める。②牛込保健センター等複合施設の北側区道工事については、都が施設への影響について調査中である。調査結果を踏まえ、新宿生活実習所の定員拡大や弁天町保育園の一時保育充実も合わせ必要な対応を検討する。

ユニバーサルデザインのまちづくり

質問 ①区は、※3ユニバーサルデザインのまちづくりをより一層進めるため、（仮称）ユニバーサルデザインまちづくり条例の制定を表明している。条例化により、どのような点が変わり、どのようにまちづくりを推進するのか。②青梅街道の歩道混雑に対し、原因となる2棟のオフィスビルの再開発開始から7年余りが経過したが、当初と変わらない状況である。青梅街道は都道ではあるが、周辺区民のために混雑対策を都と検討すべきでは。併せて、近隣企業への働きかけ等対策を。

答弁 ①区はこれまでもガイドライン策定や推進会議設置によりユニバーサルデザインのまちづくりを進めてきたが、条例化により区民や事業者、行政の各主体の役割の明確化、意識の強化を図る。さらに、条例では審議会の設置や整備基準、不特定多数が利用する建物についての事前協議制度などを定め、まちづくりを進める。②混雑対応について都と検討していく。また、再開発ビルに対して、管理会社を通じて周辺環境への配慮を促すチラシ配布を依頼する。

ユニバーサルデザインで誰もが暮らしやすく

2020年度を目途に全小中学校の体育館等の空調整備完了へ

新宿区議会公明党 代表質問

赤羽 つや子

質問 ①都議会公明党は、リースにより空調を設置する場合でも、都の補助対象とするよう都に要望している。これを踏まえ、区は空調設備の調達について、どのように進めるのか。②都が来夏に空調整備を間に合わせるよう前向きに検討している。これを受けて区は空調設備の設置スケジュールについて、今後どのように進めていくのか。

答弁 ①都の補助制度が実現した場合は、各区市町村の財源負担を軽減し、空調設備の整備を一層加速できるので、最大限活用していく。②2020年度を目途に全39施設の設置完了を進める。

新入学児童・生徒世帯の負担軽減を先進的に実施

質問 昨年、区長は23区初の就学援助の入学前支給を英断された。今回の補正予算で新入学学用品費の単価が今年度も引き続き上がっているが、その経緯は。

答弁 子どもの貧困対策は率先して取り組むべき施策であり、小中学校の新入学学用品費の前倒し支給や支給額の拡充を実施した。平成31年度から実施する新入学学用品費の拡充は、今年10月に施行された生活保護基準における、入学準備金増額の趣旨や入学時の学用品負担調査の結果等を踏まえ、新入学児童・生徒の世帯の負担軽減を図るため先進的に実施する。

ARコンテンツに〝歴代ゴジラ〟が出現

質問 区は、新規事業として「新宿フリーWi-Fi」環境下でスマートフォン等を利用して現実の風景に情報を重ねて表示するAR機能導入に取り組んでいる。本年の予算特別委員会で、ARコンテンツにおける新宿観光特使ゴジラの使用について東宝㈱に打診等を行い活用を検討するとのことだったが、その後の進捗状況は。

答弁 ゴジラの著作権を持つ東宝㈱と調整し、初代ゴジラをはじめ、歴代ゴジラを各エリアに出現する機能を構築しており、12月下旬には試験運用を開始し、区内の回遊性の向上を図る。

観光客への商店会の事業を提案

質問 大規模な国際的イベントの開催に向け、受け入れ強化を図り、新宿の魅力向上に取り組むべき。例えば区内飲食店・小売業等に多言語対応の店舗案内表示等の整備や洋式トイレへの改修などの支援を行い、商店街の活性化につなげる「おもてなし」事業を検討してみては。

答弁 メニューなどの多言語対応やトイレの洋式化等を進め、来街者が快適に過ごすことができる環境の整備は、商店街全体の活性化に寄与するため、支援を検討する。

※1【RPA（Robotic Process Automation）】主に定型的な作業をパソコン内のソフトウェアのロボットが代行、自動化することによって、業務の効率化や人的誤処理の削減を目指すこと
※2【健康寿命】健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間
※3【ユニバーサルデザイン】年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、できるだけ多くの人が利用できるよう生活環境その他の環境を作り上げること

漱石山房記念館開館にあたっての資料紛失事故等の対応

日本共産党新宿区議会議員団 代表質問

近藤 なつ子

質問 ①神奈川近代文学館から借用した資料のうち8点が紛失した。区がいつ何を借りたのかも把握出来ない、ずさんな管理が露呈した。資料提供者への敬意と感謝が欠けている。なぜ事故が起きたのか、原因は。②再発防止のため、外部の専門家を入れた第三者委員会を区長は設置すべき。③歴史博物館や記念館の収蔵資料の詳しい内容が記載されたデータがほとんどない。再発防止のために、資料の扱い、整理内容の徹底的な改善を。④記念館の指定管理者である未来創造財団の評価は、運営協定や仕様書通りに運営が行われているかで判断すべき。区長の評価は。⑤企画等の力不足のため、予定の企画が出来なかった等、基本的な運営に少なからず支障があった。なにが問題か。

答弁 ①借用資料の台帳作成やデータの管理、情報共有を行っていなかったため。②漱石山房記念館の運営学術委員会に第三者委員会について提案したが、再発防止対策をまとめ信頼回復に努めると結論を出したため設置しない。③16年前の事故を契機に重要資料のデータベース化を行い、適切に管理している。記念館の情報検索システムでは約200件の資料が公開されているが、未掲載の画像や情報等の追加を進める。④来場者も目標を超え、評価委員会で「良」の評価を頂き、一定の評価があると考える。⑤開館前後の業務集中で学識経験者との調整が不十分だったことが原因。現在は区と記念館、学識経験者が十分連携をとっている。

世界の文豪　夏目漱石の名にふさわしい記念館に

子どもたちに東京2020大会の競技観戦を

質問 都は都内の学校に在籍し観戦を希望する全ての子どもに観戦チケットを用意するとしている。しかし、東京2020大会は、夏休み期間と重なる。観戦を希望する全ての子どもが参加できるよう対応すべき。

答弁 夏季休業期間中であっても教育課程の編成を含め、柔軟に対応できるよう調整する。

子どもたちに東京２０２０大会の競技観戦を

区長の所信について

質問 ①区長は消費税10％へのアップを前提として、公共サービスの現場で働く方や中小企業支援のための公契約条例の制定を推進するとしているが、いつ議会に提案するのか。②生活実習所の「その機能の拡充について検討」としているが、その内容は。関係者の願いは増設だ。戸山1丁目にある未利用の国有地を取得し、他の用途との合築もできるよう国に要望すべき。

答弁 ①既に検討委員会を立ち上げ公契約条例も視野に入れた研究をしており、来年度中の制定に向け引き続き検討する。②周辺道路工事の影響についての調査を踏まえ拡充内容を検討する。当該国有地は行政財産で今後の動向は未定だが注視する。

区立小中学校体育館等の空調設備の早期設置を

質問 ①牛込第一中学校のエアコン設置への課題は。②区は2020年度を目途に体育館の空調整備を進めているが、2019年夏までの稼働が必要。遅くとも東京2020オリンピック・パラリンピックまでに全校の体育館に設備設置を。

答弁 ①室外機設置場所の確保等を終え、課題はないと認識している。②教育委員会と調整し、2019年度から順次取組み、2020年度を目途に全施設の整備完了を目指す。

災害時の外国人への対応

立憲民主党・無所属クラブ 代表質問

小野 裕次郎

質問 外国からの来街者、仕事、留学なども含め、新宿区で生活する外国人の数は区民の約12％にあたり、どこの自治体よりも万全な体制が求められる。災害時の人道支援の原則として「分け隔てなく被災者の公平性を高めること」との指針がある。①災害時の避難所などにおける多言語での対応は。②町会などの地域組織や消防団と、その地域に住む外国人や語学学校の学生などとの平常時からのマッチングが必要ではないか。

答弁 ①避難所でのマナーやルールを10か国語で作成し避難所に配備、掲出する。また、通訳ボランティアを派遣し、日頃から連携している団体とともに、きめ細かな支援を行う。②日頃から外国人コミュニティ、日本語学校及び支援団体等と定期的な意見交換会や防災勉強会を実施し、避難所防災訓練への参加を働きかける。庁内でも連携し、多文化防災フェスタの開催や多言語による新宿生活スタートブックの発行など、防災に関する普及啓発の充実を図っている。

災害時の避難所の多言語対応を

訪問介護のケアプランチェック

質問 介護保険で訪問介護の回数について厚労省から制度変更が示された。①このチェックは利用制限でないことの注意喚起は行ったのか。②現場からの指摘をどのように把握するのか。

答弁 ①ケアマネジャーとの連絡会において繰り返し説明してきたが、新たに集団指導等の中でも取り上げていく。②介護サービス事業者協議会等で意見交換し、くみ取っていく。

特別区交付金の区割合の拡大で健全な区財政を

社民党新宿区議会議員団 代表質問

かわの 達男

質問 区財政は5年連続して黒字であり、基金残高も過去最大となっている。①本年度の特別区税の歳入見込みは。②児童相談所開設に向けて、特別区交付金の都と区の配分割合を、まもなく始まる都区財政調整協議で区側増で要求すべき。③法人住民税の一部国税化とふるさと納税による本年度の減収見込みは。④区財政の今後の見通しは。

答弁 ①納税義務者数の増により当初予算額約413億円を上回る見込み。②特別区は一丸となって都区間の配分割合の変更に取り組む。③減収額は19億円と15億6千万円の見込み。④持続可能な行財政運営の確立を目指す。

新宿区財政白書
（毎年10月発行 ホームページでも公開中）

オンラインの情報発信に高い専門性を

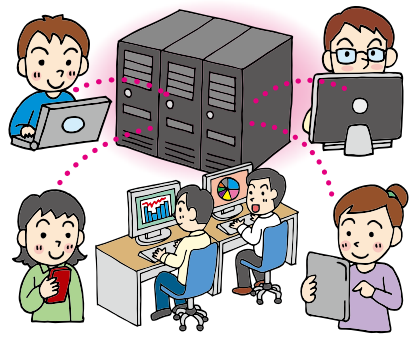
スタートアップ新宿 代表質問

伊藤 陽平

質問 新宿区ホームページに関するWebマーケティングの進捗は。

答弁 今年度はアクセス分析と合わせて専門家による検証を

行った。今後も区民の皆様のニーズを把握した情報発信に努める。


Webマーケティングの活用を

選挙啓発で区民の意思表示を促進

質問 新宿区長選挙における啓発事業の予算と効果は。

答弁 予算は988万円。主な事業は広報しんじゅく特集号、都営バスの車内広告、啓発ポスター、コンビニのPOSレジ広告、啓発宣伝カーによる啓発、若者向けリーフレットの郵送。投票率が前回区長選挙から2.44ポイント上昇し一定の効果があったと考える。

子どもたちを地域で支え成長を支援する取り組みを

新宿の明るい未来を創る会 代表質問

鈴木 ひろみ

質問 西早稲田では、若い子育て世代を巻き込んだ地域のコミュニティづくりに取り組んでいる。①子育て世代の地域コミュニティ参加についての区の考えは。②地域と学校が連携し子どもの成長を支える小中学校連携型地域協働学校の課題は。

答弁 ①地域の安全・安心への備えなどの観点からも新たな地域活動の担い手としての子育て世代の参加は大変重要。②モデル実施している四谷地域では、児童・生徒を対象とする様々なイベント等が活発に行われているため、新たに取組みを増やすことに負担を感じている方もいる。地域の実情をふまえて推進していく。

子どもの成長を地域で支える取り組みを

一般質問

新宿会 のづ ケン

期日前投票制度

質問 近年の投票率低下は民主主義を脅かすものである。そんな中で制度が徐々に有権者に普及・定着し、期日前投票者数の増加は著しくこの傾向は今後も高まることが想定される。ターミナル駅に近い利便性の高い場所や民間の大型商業施設・大学などに増設を検討できないか。

答弁 期日前投票システムの庁内LANの設置など一定の条件を満たす必要がある。

自無ク ひやま 真一

区長申し立てによる成年後見

質問 後見人制度を利用したくても申立人がいない場合に行う区長申し立てについて、今後の利用増が見込まれる。①制度の課題と、②親族がいても後見人とならないケースはあるのか。

答弁 ①区長申し立ての対象者の多くが認知症等により制度理解が難しい方のため、申し立てまでに多くの時間、労力が必要である。②親族が高齢、病気等で後見人とならない場合がある。区の対応は。②薬王寺学童クラブ等は待機児童がいるため「ひろばプラス」を開始しては。

答弁 ①ご指摘の通学路は「学童に注意」などと表示し、さらに警備員を配置して対応する予定。②平成31年度から牛込仲之小学校で実施する。

公明 木もと ひろゆき

放課後の居場所の充実を

質問 ①中町学童クラブは定員拡充のため細工町に移転する。新たな通学路は車の交通量が多く児童の安全が懸念されるが、にできないか。②学童クラブ利用登録児童が2人以上の場合2人目以降は無料にすべき。

答弁 ①営業活動の一環であり、一定の受益者負担は必要と考える。②すでに減額や免除をしており、現段階では更なる軽減は考えていない。

共産 田中 のりひで

商店街灯の全額助成を

質問 ①LED化が進み、街路灯の維持助成費も年々減少している。地域の安全・防犯の役割も担う商店街灯の助成を一部から全額

民無ク 久保 広介

児童相談所・一時保護所の開設

質問 ①児童相談所と既存の子ども家庭総合支援拠点との役割分担は。②配置職員の育成状況は。

答弁 ①児童相談所による子どもの安全確保や保護者の指導と、子ども家庭総合支援拠点によるその後の支援との役割分担は家庭環境の改善に効果があると考える。②近隣の児童相談所へ5名の派遣研修を実施しており、開設後も東京都と連携して専門性を高めていく。

新宿会 ふじ川 たかし

「都区問題」と「統治機構改革」

質問 ①市町村民税法人分など徴税権が都にあり、調整財源は特別区が55％となっている。この割合の見直しのみで都区問題は解決するのか。②免震ダンパー偽装事件で大地震の際、本庁舎の避難勧告はどうするか。

答弁 ①特別区長会を通じ権限と税財源の移譲を都に強く要請し国に働きかけていく。②国の安全性の検証では震度6強から7程度で倒壊の恐れは少ない。

自無ク 渡辺 清人

東京2020大会ボランティアの募集

質問 組織委員会が募集する大会ボランティア約8万人と東京都が募集する都市ボランティア約3万人について、区の対応、連携予定は。

答弁 都市ボランティアと連携して新宿の観光情報を提供する。また、数多くの観客が想定される地域には十分なボランティアの配置を都に要請する。大会ボランティアと区の連携予定はないが、機会があれば調整する。

公明 三沢 ひで子

停電対応について

質問 今年9月富久町で起きた停電では電力復旧まで夜間3時間程かかり住民は不安を訴えた。停電対応について区の考えは。

答弁 東京電力に、区民等の通報に対する迅速な対応、区や関係機関へ連絡徹底、迅速な情報公開、保守点検の確実な実施を要請した。今後は、東京電力に停電対策の周知啓発の実施を促し、庁内で迅速な情報共有を図り区民等の通報等に対応する。

共産 佐藤 佳一

民泊対策の強化と都営角筈アパート跡地の有効活用

質問 ①住環境を悪化させる違法民泊の実態や対策強化は。②民泊の苦情の対応は。③角筈アパート跡地について区の考えは。

答弁 ①実態把握は困難。必要に応じ警察と連携し調査を実施する。②現場を確認し事業者等へ具体的に指導。関係部署で連携し体制を強化。③都が土地を最大限に活用しつつ、地域の意向を反映することが望ましい。

自無ク 下村 治生

震災時の停電対策

質問 ①区は電力復旧日数を3日と想定し本庁舎の非常用電源の燃料を備蓄。特別出張所も3日分備蓄するべきでは。②避難所となる学校への小型発電機の配備状況とその強化は。

答弁 ①消防法等の制約があるが、燃料タンク増設等を検討する。②各避難所に3～5台配備。各地域の備蓄倉庫に追加配備用73台を燃料とともに備蓄。停電時の避難所の電力使用を精査する。

委員会の動き

新宿区長の給料の特例に関する条例などの議案を審査

総務区民委員会

●今定例会では、補正予算など議案6件と陳情4件を審査し、4件の報告を受け、質疑を行いました。

●「公の施設の指定管理者の指定について」の3件の議案及び、補正予算2件の議案は、ともに全員賛成で可決しました。

●追加議案の「新宿区長の給料の特例に関する条例」は、全員賛成で可決しました。

●「婚外子差別撤廃のための戸籍法改正を国に求める意見書の提出を求める陳情」や「ヘイトスピーチに対する実効ある対策を求める陳情」など4件の陳情は審査を行い、引き続き継続審査となりました。

●報告案件では、「平成30年特別区人事委員会勧告の取扱いについて」や「工事請負契約の締結について」など4件の報告を受け、質疑を行いました。

公の施設の指定管理者の指定などの議案を可決

福祉健康委員会

●今定例会では、議案6件と陳情6件を審査し、6件の報告を受け質疑を行いました。

●議案については、「公の施設の指定管理者の指定について」4件のほか、一般会計及び介護保険特別会計の補正予算など、合計6件の審査を行い、いずれも全員賛成で可決しました。

●陳情審査では、「安全・安心の医療・介護の実現と、夜勤制度・大幅増員を求める陳情」や受動喫煙防止対策に関する陳情など継続審査中の6件は、いずれも引き続き、議会として国や都等の動向や今後の経過を見守り、注視をしていくということから、継続審査としました。

●報告案件では、「『平成30年度親子ぜん息デイキャンプ』の実施結果について」など6件の報告を受け、質疑を行いました。

自転車等の適正利用の推進及び自転車等駐輪場の整備に関する条例改正の議案を審査

環境建設委員会

●今定例会では、議案2件と3件の陳情を審査し、2件の報告を受け、質疑を行いました。

●「新宿区自転車等の適正利用の推進及び自転車等駐輪場の整備に関する条例の一部を改正する条例」など2件の議案について、全員賛成で可決しました。

●陳情審査では、新たに付託された「西新宿三丁目西地区地区計画及び西新宿三丁目西地区第一種市街地再開発事業に関する陳情」について審査未了とし、「住民の合意なき三菱地所レジデンスマンション建築計画中止を求める陳情」については継続審査としました。その他1件については、引き続き継続審査となりました。

●報告案件では、「高田馬場駅前喫煙所の改修について」など2件の報告を受け、質疑を行いました。

中町学童クラブの移転・定員拡充の条例・補正予算等を可決

文教子ども家庭委員会

●今定例会では、補正予算を含む議案15件を審査し、8件の報告を受け質疑を行いました。

●学童クラブについては多くが定員を大きく超える登録児童数となっており、高学年では待機児童も発生しています。今回、最も超過率の大きい中町学童クラブを移転し、細工町学童クラブとして定員拡充を行う条例と補正予算を全員賛成で可決し、移転にあたっては充分な安全対策等を求める意見が出されました。

●児童館や図書館の指定管理者の指定を行う条例は全員賛成で可決しました。応募事業者が一事業者だけの館も多く、制度の趣旨に照らした改善を求める意見や、事業者が変更となる館は移行時に配慮を求める意見が出されました。

避難所（区立富久小学校）整備に関する陳情を審査

防災等安全対策特別委員会

●今定例会では、継続審査となっている「避難所（区立富久小学校）整備に関する陳情」の審査を行い、引き続き継続審査としました。

●12月18日に「神田川・環状七号線地下調節池」の視察を行うことを諮りました。平成30年は西日本豪雨や逆走した台風第12号、記録的猛暑等、異常気象と言われる夏でした。近年において、集中豪雨は頻繁に発生しており、「都市型水害」をもたらしています。東京都の施設ではありますが、浸水被害を軽減する地下調節池の機能を調べ、治水対策として東京都との更なる連携を図って参ります。

議会のICT化に向けて文書共有システムの導入に伴う課題を検討

自治・議会・行財政改革等特別委員会

●今定例会では、「文書共有システムの導入に伴う検討事項」について課題の検討を行い、「新宿区議会BCP」について報告を受けました。

●議会のICT化については、先行自治体への視察内容なども含めて議論を行い、導入する文書共有システムを決定しました。今定例会では、「使用する端末」「導入する会議体」「資料のデータ化の範囲」などについての課題等を検討しました。今後は、検討事項の詳細について整理し、議会のICT化を進めていきます。

●新宿区議会BCPの策定については、新たな本特別委員会の調査事項とし、「策定の趣旨」「災害時の会議体」「災害時の具体的対応」などの報告を受けました。今後は、策定に向けた具体的な検討に取り組んでいくことを確認しました。

「夏目漱石記念施設整備基金積立金」の補正予算を可決

オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

●今定例会では、議案1件を審査し、報告を2件受け、質疑を行いました

●議案については、文化観光産業費の「夏目漱石施設整備基金積立金」に関する平成30年度新宿区一般会計補正予算（第6号）を審査し、質疑を行いました。審査の結果、全員賛成で可決となりました。

●報告案件では、「新宿区指定文化財の指定及び登録文化財の登録並びに地域文化財の認定について」及び「平成30年度新宿ものづくりマイスター『技の名匠』の認定について」の2件の報告を受け、質疑を行いました。その中で、「文化財の指定方法や指定後の区からの補助について」や「『技の名匠』の選考基準とその方法について」などの質疑がありました。

皆様から託された請願・陳情の審議結果

審議未了　1件

□西新宿三丁目西地区地区計画及び西新宿三丁目西地区第一種市街地再開発事業に関する陳情　［環境建設委員会］

継続審査　1件（新たに提出されたもの）

□住民の合意なき三菱地所レジデンスマンション建築計画中止を求める陳情　［環境建設委員会］

議員研修会を開催しました

「障害者差別解消法」

11月22日、特定非営利活動法人「日本アビリティーズ協会」会長伊東弘泰氏、事務局長松尾敬徳氏を講師にお招きし、研修会を開催しました。議会からの講演依頼は初めてとのことです。

障害者差別解消法施行から2年が経過する中、一般に理解が進んでいない現状と心のバリアフリーが何より重要と熱意をもって語られました。新宿区議会は障害者差別解消にさらに取り組んでまいります。

あとがき

あけましておめでとうございます。

謹んで皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

今年も区議会を身近に感じていただけるよう、読みやすい紙面づくりに努力してまいります。

本紙についてのご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までお寄せください。

編集委員
佐原たけし　中村しんいち　桑原羊平　北島としあき　川村のりあき　三雲崇正　ふじ川たかし

R70 古紙配合率70%再生紙を使用しています
新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。